

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ



題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 鈴木正男
幹事 金谷健一
会報委員長 松島孝彰

No. 23

真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

Act with Integrity Serve with Love Work for Peace

1995~96年度 RI会長 ハーバート・G・ブラウン

きょうの例会

第646回 平成7年12月26日(火)

年末例会

先週の記録

第645回 平成7年12月19日(火)晴

◇ “それでこそロータリー”

◇ 出席報告

会 員 69(68)名 出席 52名
出席率 76.47%
前々回 12月5日(修正出席率) 98.53%

◇ ビジター紹介 2名

◇ ニコボックス

田中 昭二君 新人です。宜しくお願いします。
秋山 茂則君 昭和8年12月23日天皇の誕生日を知らせるサイレンが鳴ったことを思い出しました。当時誕生日を祝う唄もできましたが、まだカラオケで歌っていません。

浅井 誠寿君 大変良いことがありました。
小坂井盛雄君 本日第二回の会員選考委員会を開きました。関係者の方、お時間を頂き有難うご座居ました。

松居 敬二君 ホームクラブご無沙汰しました。
水野 民也君 もう一度、クリスマス会をして欲しい。

成田 良治君 先日の家族懇親会で私だけがいい思いをさせてもらいました。

鈴木 正男君 新会員田中昭二君を紹介させて頂きます。

竹内 眞三君 一年間お世話になりました。
和田 正敏君 ホームレスになりました。よろしく。

山本 眞輔君 ホームクラブご無沙汰しました。名古屋市大の新学部創設の目途がやっとつきました。

二村 聡君、堀江 宏輝君、今西 功一君、

河村 政孝君、菊池 昭元君、小林 明君、
小杉 啓彰君、久野 峯一君、黒野 貞夫君、
水野 賀頼君、永井 正義君、西川 豊長君、
西尾 正巳君、大谷 和雄君、鷺谷 龍男君、
佐久間良治君、佐野 寛君、笹野 義春君、
鈴木 理之君、田部井良和君、舎人 経昭君、
津牧 孝臣君、魚津 常義君、鷺野 義明君、
渡辺 辰夫君、吉田 玄君 冬至、天皇誕生日、そしてクリスマスいろいろ続きます。
宮尾 紘司君、吉田 敬岳君 誕生日祝い。
上野 保君 会員、夫人誕生日祝い。

◇ 釜谷幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方はお残り下さい。
2. ロータリー適用相場、現在1ドル100円が96年1月1日より102円に変更となりますのでお知らせ致します。

◇ 新入会員紹介



氏 名 田中 昭二
生年月日 昭和12年1月17日
事 業 所 メイサン自動車販売(株)
ローバー名東中央
名東区高針1-1003
TEL702-6801 FAX 702-6855
地 位 代表取締役社長
自 宅 中区千代田5-18-24
推 薦 者 鈴木 正男
職業分類 輸入自動車販売
委 員 会 親睦活動

◇ 謝礼贈呈

愛知厚生年金会館、社会保険サービス(株)

◇ 大口国際奉仕委員長報告

本日皆さんのお手元にお配りしましたが国

際奉仕の三つの柱の一つであるWCSの視察旅行の案内が参りました。コースが2つあり、本クラブはフィリピンへ寄附していますので、国際奉仕としてはフィリピンへ行って頂きたいと思っております。数人で参加できたらと思っておりますので協力をお願い致します。

◇鈴木(正)会長挨拶

本年も、あと旬日余を残すのみとなりました。さて、このたび新しく田中昭二君を会員にお迎えいたしました。先程私より同君をご紹介させて頂きましたが、田中君には、ロータリーという未知の世界で最初のうちは何かと戸惑いを感じられることも多いと思われますが、どうか一日も早く馴染んで頂いて、我々と共にロータリー活動を楽しんで頂けるよう期待いたします。

昨12月18日は、日本の国連加盟記念日でありました。1956年の今日、国連総会で全会一致により日本は国連加盟を果たしました。国連は広く報道されている平和維持活動に劣らず人道的奉仕活動を活発に行なっております。去る10月、ニューヨークに於て、国連創設50周年を記念して、RI会長主催の下に、「ロータリーと国連の親善開発会議」が開催された際、この会議のパウロ・コスタ委員長は「我々は、共通した人道的奉仕プロジェクトのため、国連と手を携えて活動しなければならない」と述べておられます。

ロータリーのWCS(世界社会奉仕)プログラムは、以上のような背景の下に行われる人道的奉仕プログラムであって、国際奉仕の根幹をなすものであります。このプログラムは、自分の力に余る問題に直面しているRCに海外のRCの援助を求める機会を与えるものです。当クラブは、昨年度フィリピン第3810地区リザール西RCに対し「栄養不良児への食事提供活動」プロジェクトに参加して金15万円を贈りました。

WCS活動の実態とその効果を自らの目で確かめて頂くと共に、国際親善の実を挙げるため、是非WCS活動現地視察旅行にご参加頂きたいと存じます。

◇講演

“地価の現状と今後”

(株)明和不動産鑑定所 社長

梅谷 道彦氏

(紹介 宮尾君)



昭和30年以降地価高騰は3回ありました。35年池田内閣の「所得倍増」時代、45年田中内閣の「列島改造」時代、そして今回中曽根内閣の「民間活力」時代です。

いずれも過剰流動性と低金利、そしてユニークな総理大臣、開発中心型の政策が相まって地価を押し上げてきました。

過去2回は金融引き締め、その後の景気後退の中で終焉しました。

昭和49年には対前年比マイナスの地価変動がありましたが、翌年にはプラスに転じています。

今回のバブル期の状況はやはり極めて特異な状況でありました。昭和30年から60年までの30年間に地価は56.1倍になりました。その間のGNPは37.7倍であり、複利の年間変動率に換算すると、地価は年率14.4%、GNP12.2%の上昇で極めて近似値でありました。

昭和60年から平成2年までの6年間には地価は3.2倍(年率24.4%)、GNPは1.4倍(年率6%)と格差が大きくなっています。

バブル経済の崩壊とともに、名古屋市の地価は対前年比マイナスで推移し始め、商業地においては4年間連続2桁台のマイナスです。この原因は円高にも拘らず予想外の過剰流動性、ブラックマンデーという異常期、その後の金融当局の政策対応のタイミングの悪さによるものと考えます。

現在の地価は名古屋市の商業地は昭和62年、住宅地は63年の水準にあります。

地価は経済の実態を表す結果ですので、実体経済が安定するまでは地価の底打ちはあり得ないと考えます。とは言え住宅地については低コストマンションの好調から限りなくゼロに近づいております。大都市の中心商業地についてはすでに現論上底値といわれている収益価格を割り込んだ地価水準がありますが、不良債権の温床になっている関係上こうした問題が解決されない限り底値確認は困難でありましょう。

今後も土地受難時代が続くものと考えます。

◇ロータリーの友12月号 エバンストン便り

特別週間

ブラウンRI会長は各ロータリークラブおよび地区に対し、1996年2月12日から18日までの1週間を「家族と地域社会週間」とするよう要請しています。この新しい週間の制定を全ガバナーに知らせる書簡の中で、ブラウン会長はこう述べています。

「私たちロータリアン一人ひとり、会員を増強することとか、ポリオを撲滅する努力を今後も続けることといった問題の重要性を認識しております。しかし、私たち自身の地域社会や家族が直面している重要な課題に対処していなければ、これらの努力もほとんど意味をもたないことになってしまいます」

ブラウン会長は、ロータリアンが2月17日から18日にかけての週末に「家族の日」を設けるよう呼びかけています。

◇次回例会(1月9日)

新年夜間例会(松楓閣にて18時より)